

房総半島沖のゆっくり滑りと地震活動

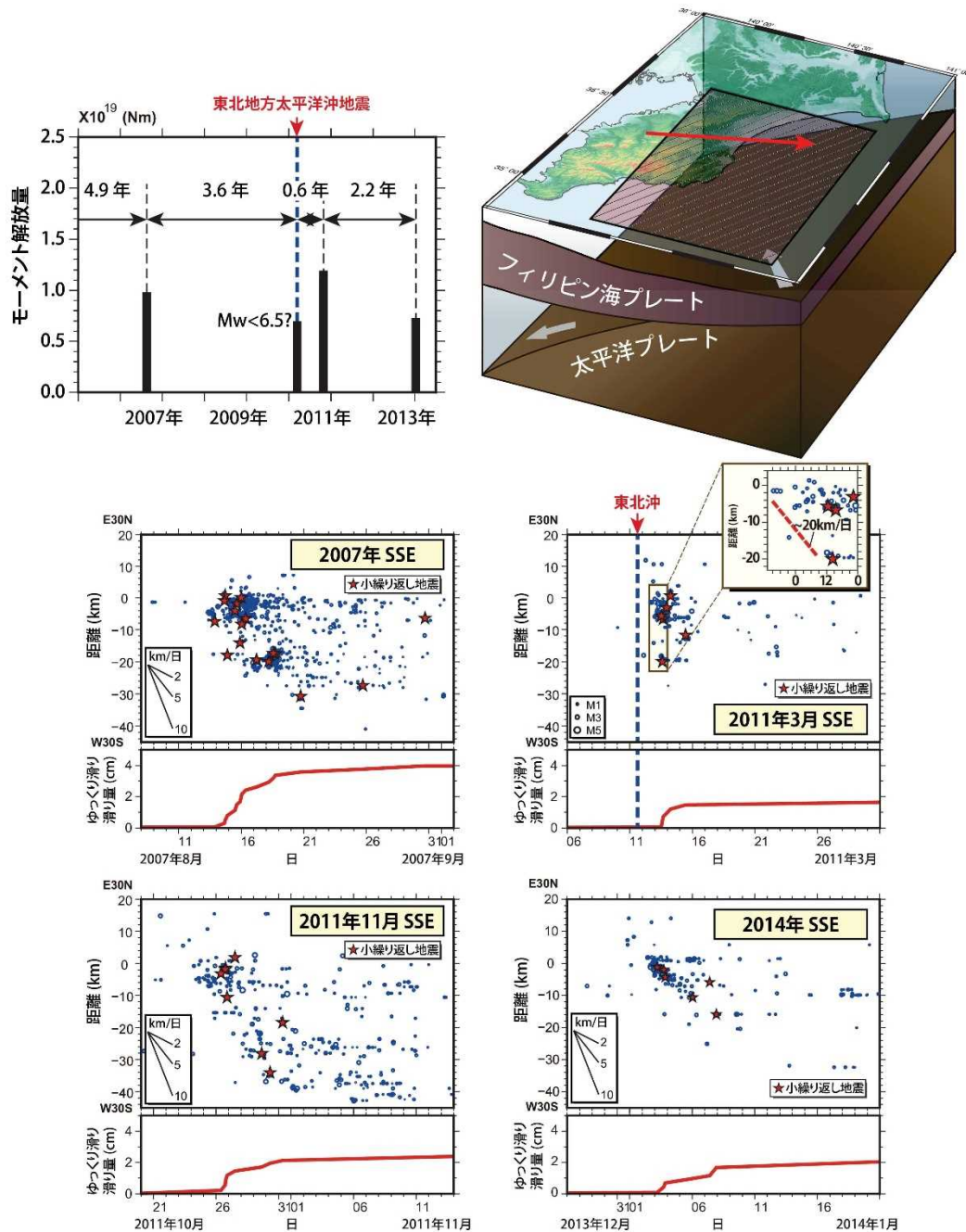


図9 (上左) 房総半島沖ゆっくり滑りの発生履歴。(上右) 房総半島におけるプレート沈み込みの模式図
 長方形領域の地震を解析した。赤矢印は、下図で震央を投影した方向。(下) 2007年8月, 2011年3月, 2011年11月, 2014年1月のゆっくり滑り (SSE) 期間に発生した群発的地震活動の時空間発展。青点は地震波形の相関を利用した解析により検出された地震, 赤星は小繰り返し地震。横軸は時間経過, 縦軸 E30° N-W30° S の測線に投影した震央位置を表す。赤線は累積滑り量の時間変化。2011年3月の図中の赤破線は地震の移動フロントのおおよその位置を表す。